



住んで良かった町に

ひまわり通信



令和元年 10月1日
027号
なんすいひまわり委員会

秋の声が聞こえる美しい季節が到来しました。心地よい秋風が吹き抜ける感じもするでしょう。食欲の秋や読書の秋、芸術の秋などといわれる様に過ごしやすいさも実感します。元気なお声を聞きたくて、ひまわり通信をお持ちしました。



～ひまわり委員会から～

「避難行動要支援者支援制度」についてご存知でしょうか？

河内長野市では災害時に自力で避難する事が困難な方を事前に把握し、その情報を地域の避難支援等の関係者に提供し、避難支援や安否確認等に役立てるようにしています。



*登録対象は

- 1 介護保険の要支援・要介護認定の人
- 2 障害のある方（等級、判定のある方、難病患者）
- 3 75歳以上のみの世帯の人
- 4 家族と同居しているが、昼間は1人になる高齢者の方などで自ら避難が困難な人
- 5 自ら登録を希望する人



*支援者の同意・不同意の確認と登録の仕方は

市では避難支援が必要と考えられる人に同意申請書を年1回送付します。市から文書が届かない人で、自ら登録を希望する人は、申し出れば、申請書が送られてきます。



*市やなんすいひまわり会に登録されると

- 1 避難支援関係者（自治会自主防災委員会、民生委員・児童委員、福祉委員）に情報を提供されます。
- 2 「伝書箱」が民生委員・児童委員を通じて配布されます。これは救急隊が駆け付けた際、救護の為の情報をいち早く正しく得る為のものです。
- 3 楠翠台では地域支援者の善意による“ひまわり会”の皆さんで平常時の見守り活動を行っています。

《昭和の足音》



今の時代は、本当に便利で快適な世の中になりましたね。

昔に比べると、食糧は簡単に手に入るようになり、医療も進歩したお陰で、多くの人が救われる時代になりました。

便利な家電製品は数多く、スマートフォンや自動車を自由に使いこなす時代、こんな時代を先人たちが見たらどんな風に思うのでしょうか。

しかし、いかに便利な世になろうとも、加齢による肉体的な衰えは、誰にも止めることはできません。時代を超えても変わらないこと、それは、家族や大切な人を思いやり、助け合いの気持ちをもつ人の心ではないでしょうか。

なんすいひまわり委員会では、この気持ちを大切に活動しています。

いつの時代になっても、心通い合う人の気持ち、大切にしていきたいものですね。

「ひまわり号」は月曜日～金曜日の平日です。運行時間のお間違いないように！

・河内長野駅（南海バス降車場）



16時15分発

・イズミヤ（地下食品売り場出口）

16時30分発



ひろば・ひまわりか



8月1日には子供会と一緒にソーメンを味わいました。その為の準備として、子供達が竹からソーメンとツユの容器を作りました。24日は「ワイン発祥のジョージアの魅力！」についてお話していただき、ワインの試飲も楽しみました。

29日はオジャミビンゴでした。9月5日は特殊詐欺について河内長野警察の方のお話を聞きました。19日には川上小学校地区まちづくり協議会と福祉委員会の方たちに作っていただいたイチジクジャムを味わわせていただきました。



28日は友・遊ボーリングでした。

11月9日（土）集会所において午後1時から ひろば・ひまわり主催「わいわい！ひろば祭」を開催します。子ども会・福祉委員会協賛で行います。詳細は後日各戸配布しますチラシをご覧ください。



☆脳活コーナー
今回は四字熟語です。ワカルカナ？

① もってのほか言
いようのない事

☆言語口断

② 四方全て敵に囲
まれている事

☆四□□歌

（答え）

① 道 ② 面楚